（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（人間発達学研究科 人間発達学専攻 修士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次		単位数 必修	選択	自由	授業形態 講義	演習	実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
基幹科目	人間発達原論	学校経営論特講	1･2	通		4		○			1						
		社会教育学特講	1･2	通		4		○				1					
		教育史学特講	1･2	通		4		○				1					
		発達心理学特講	1･2	通		4		○			1						
		学校心理学特講	1･2	通		4		○				1					
		幼児教育学特講	1･2	通		4		○			1						
		教育社会学特講	1･2	通		4		○								兼1	集中
		健康発達科学特講	1･2	通		4		○			1						
		身体運動論特講	1･2	通		4		○			1						
		小計（　9　　科目）	－			36		－			5	3				兼1	
	人間発達支援論	特別支援教育特講	1･2	通		4		○			1						
		発達援助学特講	1･2	通		4		○			1						
		社会科教育論特講	1･2	通		4		○				1					
		理科教育論特講	1･2	通		4		○				1					
		体育科教育論特講	1･2	通		4		○			1						
		生活指導実践論特講	1･2	通		4		○			1						
		保育援助論特講	1･2	通		4		○				1					
		子どもの美術文化論特講	1･2	通		4		○			1						
		言語発達支援論特講	1･2	通		4		○				1					
		カウンセリング特講	1･2	通		4		○				1					
		幼小連携論特講	1･2	前		2		○								兼1	集中
		外国籍児童教育論特講	1･2	後		2		○								兼1	
		小計（　12　　科目）	－			44		－			5	5				兼2	
関連科目		福祉科学論特講	1･2	通		4		○				1					
		社会事業史特講	1･2	通		4		○			1						
		精神医療史特講	1･2	通		4		○			1						
		臨床発達心理実習	1～2	通			4			○	3	2					
		小計（　4 科目）				12	4				5	3					
研究指導		人間発達学研究	2	通	4				○		6	4					
		小計（　1　　科目）	－		4			－			6	4					
合計（　26　　科目）			－		4	92	4	－			12	9				兼3	

学位又は称号	修士（人間発達学）	学位又は学科の分野	教育学

教　育　課　程　の　編　成　方　針

人間発達学研究科では、教育学、心理学、教科教育学、保育学を基盤として、他の学問領域との連携を重視しつつ、生活の全局面で現れる多様な“子どもの発達の危機”に対して、理論的・実証的、及び実践的・臨床的な専門教育・研究を展開する。そうした体系的教育・研究のなかで、国や地域社会、学校が共同して解決していかなければならない重要課題である“子どもの発達の危機”に対処しうる「高度専門職業人」や地域で活躍できる「高度で知的な素養のある人材」の養成を目指す教育課程を編成する。さらに、“子どもの発達の危機”に対処する知の拠点づくりやネットワークの創出に必要不可欠な研究者養成にも務める。

卒　業　要　件　及　び　履　修　方　法

人間発達原論と人間発達支援論の双方の科目群からそれぞれ8単位ずつを履修し、それに人間発達学研究4単位を加えた20単位を含み、34単位を修得することを修了要件とする。

授業期間等	
１学年の学期区分	２　期
１学期の授業期間	１５　週
１時限の授業時間	９０　分